

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7507 入門簿記A			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	クラス指定必修			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	×
曜日時限	金曜2限				
教室	J401教室				
代表教員	海老原 諭				
担当教員	海老原 諭				
テーマと到達目標	すべての企業は、ビジネスを行うことによって生じた財産の増減を会計帳簿に記録しなければならない（簿記）。この授業では、小規模な株式会社において行われる基本的な取引を記録する方法について学習する。この授業では、簿記を行うことの重要性和複式簿記による記録の仕組みについて理解するとともに、基本的な取引の記録を行うことができるようになることを目標とする。				
概要	1. この授業は、講義形式で行う。講義は板書によって行い、スライド資料の配布は行わない。 2. 第6回および第11回の講義終了時に、それまでの学習内容の習熟度を確認するため確認テストを行う。確認テストはwako portal上で配布、回収し、提出期間は1週間とする。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	簿記の基礎概念				対面授業
第3回	複式簿記による主要簿への記録				対面授業
第4回	現金・預金				対面授業
第5回	有形固定資産・消耗品の取得				対面授業
第6回	商品売買取引の処理(1) 三分法による処理の基本				対面授業
第7回	商品売買取引の処理(2) 返品、前払いの処理				対面授業
第8回	消費税、租税公課				対面授業
第9回	給料の支払い				対面授業
第10回	資本取引				対面授業
第11回	試算表				対面授業
第12回	決算手続(1) 修正仕訳				対面授業
第13回	決算手続(2) 売上原価の計算、貯蔵品				対面授業
第14回	決算手続(3) 減価償却、決算振替仕訳				対面授業
第15回	決算手続(4) 財務諸表の作成				対面授業
成績評価の基準	1. 平常点（2回の確認テストの得点による）30%、期末試験70%の割合で計算した素点をもとに評価する。 2. 出席数が講義実施回数の3分の2に満たない場合、期末試験において不正行為があった場合は、素点にかかわらず不可とする。				
履修にあたっての留意事項	1. 授業には教科書・問題集・ノート・電卓を持参すること。 2. 期末試験は電卓以外の持ち込みを不可とする。 3. この授業では出欠確認をwako portalのスマホ出席機能と紙の出席票を併用して行う。 4. この授業では公欠、不欠席の取り扱いはいしない。どのような理由による場合も欠席は欠席として取り扱う。 5. 講義内容について質問等があれば、wako portalのQ&A機能を使用して行うこと。 6. この授業では教科書および問題集の第14章までを範囲とする。第15章以降は後期の入門簿記Bで学習する。 7. この授業は経営学科の必修科目として開講される。経営学科の学生は、大学入学以前に簿記の学習経験がある場合であっても受講する必要がある。記憶があいまいになっている部分を補完することはもちろんのこと他の学生のサポートも積極的に行うこと。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					

【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件	
---------------------	--

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	実務電卓（12桁を入力できるもの）を所有していない者は購入すること。電卓のおすすめについては、オリエンテーション時に説明を行う。		
教科書	海老原諭『初級簿記教本（第2版）』創成社、2024年。 海老原諭『初級簿記教本・問題集（第2版）』創成社、2024年。	教科書(ISBN)	9784794415967 9784794415974
参考文献	なし	参考文献(ISBN)	